

# 井原市 市民活動センター つどえ～る通信

《発行所》  
井原市市民活動センター  
715-0019 井原市井原町352-1  
0866-62-9090 (FAX兼)  
http://www.ibara.ne.jp/~katudou  
/E-mail:katudou@ibara.ne.jp  
編集/NPO法人市民交流  
ネットワーク井原

## 就実大の土井教授が解説

# 天心と田中の世界

つどえ～る講演会



就実大学出前授業を兼ねた本年度初のつどえ～る講演会が7月16日に開かれ、過去最多の63人が受講しました。

## 美術はイメージの増幅が大切

この日の講師は就実大学大学院人文科学研究科の土井通弘教授で、演題は「岡倉天心と平櫛田中」。NPO法人市民交流ネットワーク井原の上田勝義理事の開会挨拶に続いて、就実大学企画広報課の片岡一正課長が出前授業を通しての地域貢献について述べ、講演に入りました。

土井教授は岡倉天心と平櫛田中の年譜に沿い、二人の生き方、考え方を、おおむね次のように説明しました。

「平櫛田中は1908年、日本彫刻会第一回展に『活人箭』を出品。これが岡倉天心の目に留まり、以後、二人の出会いが深まっていった。こ

## HPを開設

たかやRC ホームページ

開設日 2011年4月22日  
最終更新日 2011年8月18日

000999

TOP, 写真, 更新しました!

たかやRC 活動内容

- ◎各地マラソン大会参加
- ◎駅伝競走大会参加
- ◎ウォーキング、山登り参加
- ◎その他

新入会員募集中!!

たかやRCでは、新入会員を募集しています。  
「走るのが苦手...」という方でも大丈夫!  
一緒に参加してください。  
一緒に走った後の打ち上げが最高!!  
高屋地区以外の方も歓迎します!

## たかやRCが活動PR

つどえ～る登録団体のたかやランニングクラブがホームページを開設しました。井原市高屋町の仲間が集まったクラブで、駅伝競走大会や各地の健康マラソンに参加している元気なチームです。代表世話人の高木完二さんは「まちづくりにも役立つ団体を目指したい」と抱負を語っています。

URL = <http://www.geocities.jp/takayarc/>

会費：無料  
窓口：つどえ～る  
62・9090

のとき天心は田中の作品を見て『手に弓矢を持たせるとは何事だ』と批評。説明化して意味を限定してはならない。美術はイメージを増幅させることが大切であると伝えた。田中は『あの言葉は効きました。彫刻とは何かを教えてください一言です』と述懐している。

「明治二十八年から二年間、田中は奈良に滞在してじっくり東洋の伝統技法を学んだことで、当

つどえ～るの団体及び個人登録が本年度に入っ  
て増えていきます。  
六月には「たかやラン  
ニングクラブ」、七月に  
は「井原ライトクラブ」  
などが加入。八月二十日  
現在で二十五団体になっ

## 登録団体など増加

### 市民活動センター

「パソコンを始めた  
い」「ボランティア活動  
に関心がある」という方  
には、つどえ～るクラブ  
への個人登録がピタタ  
リ。協働のまちづくり勉  
強会や講演会の企画運営  
に関わるなど、遊学心で  
取り組んでいただけるネ  
ットワークコミュニティ  
です。

「活人箭」は1908年に  
原型制作(石膏)



時日本に入ってきた西洋  
文化を簡単に受け入れる

気持にはなれなかったよ  
うだ」  
「明治四十八年、田中  
ら高村光雲の門下生三人  
が、天心に『どうして作  
品が売れないのか』と泣  
きことを言った際、天心  
は『売れない物を作れ』  
と箴言。これにより田中  
は好きなものを作ればよ  
いのだと悟り、自らの道  
に入っていた」

さらに土井教授は第四  
十三回院展(1958  
年)に出品した大作「鏡  
獅子」の完成に至る経緯  
の中で、鎌倉時代の木雕  
技法を五百年後の近代へ  
と移し、エネルギー表現  
にこだわった平櫛田中に  
ついて詳解。  
名誉市民の田中翁に関  
して深い知識を吸収しよ  
うと、熱心な受講者が目  
立つ講演会でした。

### つどえ～る登録団体

〔・印はNPO法人〕

- 備中西商工会青年部美星支部  
(代表 川上 直哉)
- ・まちづくり岡山ネットワーク  
(代表 吉澤万千子)
- ・井原市福祉をよくする会  
(代表 落合 清三)
- 櫛の杜塾  
(代表 田村 俊逸)
- 鳥羽踊り保存会  
(代表 尾山 立志)
- ・プラント  
(代表 吉原 正敏)
- 井原町まちづくりの会  
(代表 三宅 秀治)
- 新現役の会井原支部  
(代表 森 岑生)
- ・はっぴいひろばとまとさん家  
(代表 井上 咲子)
- ・井原はばたき会  
(代表 中島 知子)
- 100万人のキャンドル  
ナイトin井原駅実行委員会  
(事務局 上田 勝義)
- 井原B B Q  
(代表 細羽 宏子)
- 五味会  
(代表 宮本 幸枝)
- ボランティアガイド井原  
(代表 北川 有紀)
- 井原備中神楽保存会  
(代表 藤井 和海)
- 倉掛自治連合会  
(会長 倉橋 一郎)
- 岩崎おもちゃ病院  
(代表 岩崎 勲)
- ・ビビット経ケ丸  
(代表 鳥越恵治郎)
- 井原市文化協会洋画部  
(部長 原田 晋作)
- 井原スポーツ少年団B B C  
(代表 掛橋 浩之)
- たかやランニングクラブ  
(代表 高木 完二)
- 井原ライトクラブ  
(代表 森下 三男)
- 井原市グラウンド協会美星会  
(代表 大元 重明)
- 猪清サロン スミレクラブ  
(代表 曾根 勝)
- ・市民交流ネットワーク井原  
(代表 大坪 正廣)

## 鮎250匹つかみ捕り



「川遊びは楽しい」と鮎を追う子どもたち=8月20日午前10時30分

# 小田川に歓声

## とまとさん家・子どもサロン

桜橋上手

はっぴいひろば・とま  
とさん家の子どもサロン

が八月二十日、桜橋上手の小田川で鮎のつかみ捕り大会を開き、約百二十人が参加しました。午前十時、主催者と小田川漁協の役員から「安全に楽しんでください」と挨拶があり、さっそく網で囲まれた川の中へ。

この日放たれた鮎は二  
十cm級の二百五十匹。子どもたちは大はしゃぎで追いかけて、つかまえた鮎をその場で塩焼きにして賞味。会場には竹を割って作ったソーメン流しのセツトが組まれ、参加者は河原で食べる爽快さを満喫しました。

## つどえ～る活用

### 文化協会洋画部写生会



写生会には適していると評判のつどえ～る「八月二十日」

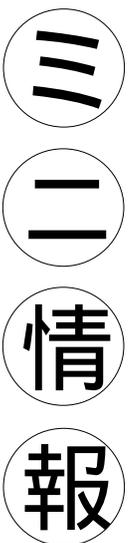
井原市文化協会洋画部(原田晋作部長)の約三十人が八月二十日、二十一日の二日間、つどえ～るで夏の人物写生会を開きました。モデルの若い男性がチエロを奏でる中、部員らはキャンパスに気持ちを集中。それぞれの感性で筆を走らせると、作品は個性豊かに仕上がっていました。休憩時間にはお互いの作品について話し合うなど、部員同士の交流も図られ、館内は静かな熱気に包まれました。

### 緑のカーテンコンテスト

夏の猛暑に備え、アサガオ・ヘチマ・ゴーヤーなど、つるが伸びる植物を植えて直射日光をさえぎる「緑のカーテン」のコンテストを昨年度に続いて実施します。

楽しみながら身近な環境対策に取り組んでみませんか。

主催：100万人のキャンドルナイトin井原駅実行委員会  
審査：9月初旬に写真をつどえ～るへ展示して10月中旬に表彰。事前の登録をお願いします。(無料)  
問合せ：つどえ～る(TEL62-9090)  
井原市井原町352-1



### 打ち水大作戦2011



年間を通して最も暑いとされる大暑の7月23日、井原市内の数団体がつどえ～る前で「打ち水大作戦2011」を実施。隣地の手押しポンプでくみ上げた地下水を正午から道路へ一斉に撒くと、周辺温度は1～1.5下がりました。

### つどえ～るご利用メモ

- 【1階】使用無料  
交流コーナー・ミーティングコーナー・情報コーナー・インターネットコーナー・作業コーナー・パソコンコーナー・展示コーナー・育児ルーム兼ミニ会議室  
注) コピー印刷等は実費要  
注) 本施設は公益的事業以外の目的には使用できません。詳しくは事務局へ  
注) 倉庫の使用はご遠慮願います  
注) ゴミは各自お持ち帰り願います
- 【2階】有料会議室(机15・椅子30)  
9:00～17:00 1時間 200円  
17:00～21:00 1時間 300円  
冷暖房は1時間 100円
- 【休館日】月曜日、祝日、年末年始  
注) ただし月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日は休館